

サハリン事務所現地レポート

2018年9月

(件名) 友好・経済協力提携 20 周年記念事業

報告者：主査 梶山 雅生

2018年9月6日から9日にかけて北海道とサハリン州の友好・経済協力提携 20 周年を記念したイベントがユジノサハリンスク市において行われた。

北海道胆振地方で発生した地震の影響で高橋はるみ知事や文化団体の訪問は叶わなかったが、記念文化交流コンサートや北海道フェアなどは予定どおり開催された。

北海道フェアは市内の大型商業施設で行われ、オープンセレモニーではサハリン州コジェミャコ知事が登壇し北海道での地震の被害を見舞った。フェアでは道産品の販売だけではなく、餛飩工ショーや日本料理のレクチャー等が行われ多くのロシア人が日本の文化に触れ異文化交流を楽しんだ。ここ数年連続して開催している北海道フェアにより道産品の品質の高さは徐々に浸透しており、郊外からの参加者や、商品を箱買いする顧客も多数見受けられた。

文化交流コンサートでは約 600 人の来場者が今回の地震の犠牲者に黙祷を捧げたほか、現地のダンスグループが YOSAKOI ソーランを披露するなど、道民にとっては大変心温まるコンサートとなった。

今回、様々な場面で多くのロシア人から地震の被害に対しお見舞いの言葉をいただいた。予定していた北海道代表団の多くは来訪できなかったが、参加できた一部の訪問団員にとってはサハリンからの思いやりを感じられる素晴らしいイベントとなったと思う。



記念コンサート



餛飩工ショー



物産展

(件名) サハリン州立美術館での岩田道夫展覧会について

報告者：主査 阿部 大祐

9月8日より、サハリン州立美術館において旭川の芸術家・岩田道夫氏の展覧会が、道、州政府、美術館の共催により開催され、会場には多くの人が集まった。

本展覧会は、日露文化・芸術フェスティバル、そして「北海道とサハリン州の友好・経済協力提携 20 周年記念事業」の一環として行われ、他の行事が北海道胆振東部地震の影響により中止・縮小された中、事前に作品を搬送していたことから無事開催できたものである。

岩田氏は油絵、線画、書画など、多方面にわたり才能を発揮したが、生前、自らの作品を積極的に発表することなく早逝した芸術家である。

展覧会の開催は、サハリンの芸術家であるキリュヒナ氏が、交流のあった岩田道夫ギャラリーを運営する村田和子氏を州立美術館に紹介したのがきっかけであり、美術館側が岩田氏の広範な才能に驚き個展の開催を希望し、サハリン事務所に連絡があったものである。

9月10日には、岩田氏の生い立ちや作品に関する講演会も開催され、これに関しても開催の準備や講師の通訳など、サハリン事務所においてサポート行い、市民の方に北海道の芸術に対する理解を深めてもらうことができた。

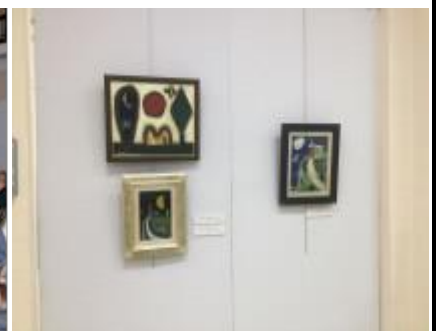
この展覧会はまさに北海道とサハリンの芸術家たちの交流のなかで生まれたものであり、このような交流の一助となれたことは意義深いものであったと考える。



開会式会場風景



講演会作品



展示の様子